

豊中・サンマテオ姉妹都市

提携ニュース

2011

Toyonaka



<http://www.city.toyonaka.osaka.jp/>

San Mateo



<http://www.cityofsanmateo.org/>

豊中・サンマテオ姉妹都市協会
Sister City Association of Toyonaka-San Mateo

第41号

國貞会長がサンマテオ市を訪問されました



2010年8月9日(現地時間)

國貞会長が親善使節2人とともに、
サンマテオ市を訪問されました。

そのときの感想をまとめていただきましたので、ご紹介します。

San Mateo

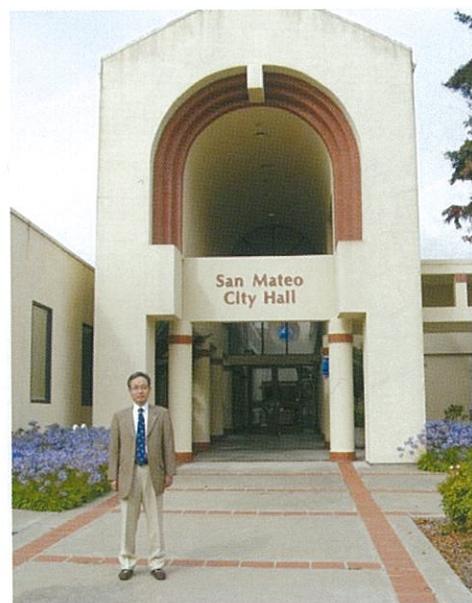
(左から)
國貞会長 井手さん 野村さん ジョン・リー市長

私が豊中・サンマテオ姉妹都市協会の会長を御引き受けして、4年になります。毎年8月に、高校生英語弁論大会優秀者2人を親善使節として、サンマテオ市に派遣し続けて今回で27回目となります。一度は訪問し、お世話頂いているサンマテオ姉妹都市協会の皆さんにお礼を言いたいと思っておりましたが、今回チャンスがあり訪問することが出来ました。サンフランシスコ近郊のサンマテオ市はサンフランシスコ湾に面し、サンフランシスコ国際空港から南に30kmに位置し、温暖な気候で、人口約9万人、ベッドタウンとして落ち着いた美しい住宅街が形成され、住みやすい印象を受けました。

私のスケジュールの都合で8月9日午前10時から午後2時過ぎまでの、半日という短時間でしたが、Mr. John Leeサンマテオ市長はじめ協会役員の方々の心温まる歓迎を受けました。

今回派遣された野村幸恵さん、井手ちひろさんは8月4日、日本を発ち8月11日帰国の予定で、一足先にサンマテオ市に滞在していましたが、ホームステイ先のゴメスさんご家族と一緒に参加してくれました。二人は皆さんに心から親切にしてもらい、見るもの聞くものすべて新鮮で勉強になり、大変貴重な体験をさせてもらっていると、楽しそうに話してくれました。

ビクター岩本さんはじめ数名の役員の方々の出迎えを受け、サンマテオ市長を表敬訪問した後、市庁舎会議室で歓談しました。参加した皆さんとは初対面とは思えぬなごやかな雰囲気、話が弾みました。特にビクター岩本さんには、長年にわたり親善使節受け入れに関して中心となり、ひとかたならぬお世話を頂きましたことに、改めて感謝御礼申し上げます。これまでホームステイ先の確保など数々のご苦勞をおかけしてきたかと思いますが、こちらの想いをくみ取っていただいたうえでご尽力いただき、本当に感謝の念に堪えません。あわせて、この度のホームステイを快く引き受けて頂いた、ゴメスさんご家族の皆さんに心から感謝御礼申し上げます。



サンマテオ市役所前にて



ゴメスさんご家族と親善使節



ビクター岩本さん、陽子アンダーソンさんと



五重塔前にして



皆さんとのなごやかなひととき



会談後、日本庭園を案内して頂きましたが、豊中市・サンマテオ市の長年の友好都市としての歴史を垣間見ることができました。

1966年開園の本格的回遊式日本庭園で、記念として仏塔（石造五重塔）を豊中市から寄贈され、サンマテオ日本庭園の代表的塔となっています。また、1991年、開園25周年のお祝いとして豊中市から神殿が寄贈され、シンボリック的存在となっていました。茶室もあり池には錦鯉が泳ぎ、日本の松をはじめ多くの植栽木々も専属の庭師の管理のもと大きく立派に育ち年輪を感じました。

この庭園は、市民に無料開放されており常時数名の市民が散策されているとのことでした。スポーツ施設、グラウンド、老人集会所等公共施設も隣接し、素晴らしい環境と文化を感じました。

両市の友好関係が始まって今年で48周年を迎えます。8月にはサンマテオ少年野球チームが豊中市を訪問する予定で、Mr. Daniel Harris米国サンマテオ市姉妹都市協会会長に招待状と協会役員皆様の同行をお願いし、再会を約しサンマテオ市を後にしました。ちなみに野球の親善交流は32周年を迎えます。

今回親善使節として派遣された野村幸恵さん、井手ちひろさんお二人は、若くして異文化に直接触れ、これまでに派遣された多くの先輩たちと同様、将来の人生設計に大きくプラスになると確信しました。

今回初めての、また極めて短時間の訪問でしたが、米国サンマテオ市協会の役員の皆様の豊中市を思う温かく深い心に触れ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。また、これまで豊中・サンマテオ姉妹都市協会に関係された多くの先輩たちの足跡に触れ、その歴史を感じるとともに、引き継いだ私たちは今後も関係を継続発展させていかなければならないと思いました。

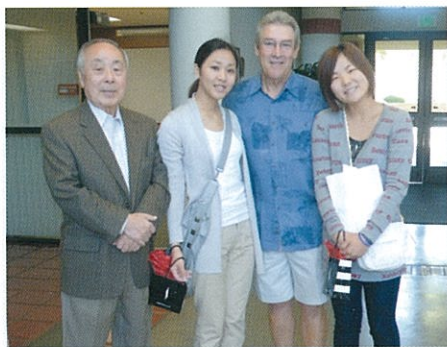
私たちのサンマテオ

訪問記



2010年8月4日～11日にかけて「第38回高校生英語弁論大会」の豊中市長賞 野村幸恵さんとサンマテオ市長賞 井手ちひろさんが親善使節としてサンマテオ市へ派遣しました。お二人はサンマテオ市長を表敬訪問したり、ホームステイを楽しんだり、沢山のふれあいや様々な経験をして帰ってこられました。

豊中市長賞 野村 幸恵さん



私は8月4日から11日にかけて、サンマテオ市へ派遣されました。10時間という長いフライトに耐え、アメリカの地に初めて降り立った時の嬉しさや解放感、緊張感には言葉に出来ないものでした。空港でホストファミリーの熱烈な歓迎を受けた後、車に乗って昼ごはんを食べに行きました。車では鼓膜が破れそうなくらいの大音量の音楽をかけ、片側5車線もある道路を走っていると、アメリカに来たのだという実感がわきました。

昼ごはんはハンバーガーを食べました。一番小さいサイズを注文したのですが、日本のLサイズくらいのハンバーガーセットが出てきたのには驚きました。噂では聞いていましたが、ここまで大きいサイズだとは思いませんでした。全部食べきりましたが、実は機内食でもハンバーガーを食べただけだったので、少し飽きてしまいました。現地ではピザなどのファーストフードをよく食べましたが、とても美味しくて心配していた胃もたれになることもありませんでした。

その日の夕方には、ホストファミリーに連れられ、お寿司を食べにいきました。そのお店は日本人の方が経営されていましたが、日本のお寿司とは全く違いました。湯のみを使うところや、わさびやがりなどが用意されている点は日本と同じですが、回転していたのはお寿司ではなく、揚げ物ばかりだったのです!!お店のオーナーさんからはサンマテオ市について、色々な話を聞かせてもらいました。

二日目は家の近所を散歩したり、コストコ(英語ではコストコというみたいです!)やデパートに行ったりとのおんびりすごしました。風が気持ちよく、雲ひとつ無い天気では最高の気候でした。私が散歩をしていて気づいたのは、サンマテオ市はとても自然豊かということです。以前は、サンマテオ市は高層ビルばかりで自然が少ないと思っていましたが、実際には木がたくさん生えていて高い建物もなく、野生のリスが家の近くにある木に住みついているほどでした。しかし、アメリカではどんなに近い距離でも車を使うので、こんなにも自然豊かな場所にもかかわらず、歩いている人や自転車に乗っている人はほとんどいませんでした。三日目はサンフランシスコ観光をし、有名なゴールデンゲートブリッジにも連れて行ってもらいましたが、濃い霧がかかってよく見えませんでした。他の日にはスタンフォード大学や大規模なパーティーにも連れて行ってもらいました。



この滞在の中で私が一番驚き感動したのは、日本とアメリカのサイズの違いでした。もちろんハンバーガーや道路のサイズにも驚きましたが、現地の方たちの心のサイズには感動させられました。みんな心が広く、余裕があり、初対面でも気さくに声をかけてくれ親切に接して頂きました。今回、私たちがお世話になったゴメスさん一家もとても優しく、笑いの絶えない楽しい一家でした。みんなスペイン語も話すことができ、教えてもらったり日本語を教えたりしました。また、みんなで音楽を聞いて踊ったり、時には真剣にアメリカの銃社会について話し合ったりもしました。

一週間だけの滞在でしたが、空港でお別れの時にはみんなで泣いてしまいました。今回の派遣では学ぶこともたくさんあり、ここでは書ききれないほどの貴重な体験をさせて頂きました。私を温かく迎えて下さった現地の協会の方々、ホストファミリー、また派遣させてくれた豊中の協会の方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。





サンマテオ市長賞 井手 ちひろさん

飛行機の窓から見下ろしたアメリカの地は明らかに違いました。土地の規模、色合い、そして家々の並び方や車線さえも、日本とアメリカの上空から見た景色に違いがありました。この時に自分は本当にアメリカに降り立つんだと実感しました。到着はフライトの都合で1時間程遅れてしまいました。しかし、ホストファミリーは笑顔で迎えてくれ、安心し、この1週間がとても楽しみになりました。そして車に乗り、走り出しました。

車線は日本より多く、車道の広さに驚きました。目に入る車や家、食べ物。すべてが大きくて日本と造りも全く違って面白かったです。やはりハンバーガーは大きく、ジュニアセットを頼んでも食べることができませんでした。しかし、とても美味しかったです。寿司を食べに連れて行ってくれたのですが、揚げ物を挟み、ロール状に巻いたビッグサイズの寿司ばかりでさすがに驚きました。そして、色々な場所に連れて行ってもらいました。サンフランシスコでは、有名なメイヤーに会ったり、美味しい食べ物を食べに行ったり、有名な観光地にもたくさん連れて行ってもらいました。特に、ゴールデンゲートブリッジを渡った時は、テレビの中でしか見たことがないのに実際に自分が渡っていることを実感し、とても感動しました。盛大な誕生日パーティーにも連れて行ってもらいました。見ず知らずの私に「来てくれてありがとう。」と言ってくれ、周りに座っていた人達もとても気さくで、ジョークを言ったりと楽しく会話をし、ダンスも踊りました。

アメリカに来て様々な貴重な体験をし、色々な発見をしました。私はアメリカの人々は必ず一家に一つは銃を用意してあるものだと信じていました。ホストファミリーにあるのか聞いたところ、アメリカでも銃を持つには免許がいるらしく、本当に驚きました。他にもサンマテオ市には野生のリスがいたり、日本とは違って240ccの計量器があったりと小さな発見がありました。

サンマテオ市の市長や会長、シティマネジャーなどにお会いしました。とても緊張していたのですが、とても穏やかな雰囲気ですべて迎えて頂きました。一緒に日本庭園に行ったり、会食をしたりと、本当に貴重な経験をしました。そして、アメリカの人々ははてものびのびとして



いるなと感じました。



ホストファミリーと映画館でコメディ映画を見たのですが、上映中、皆様にコメントをスクリーンに向かって投げかけ、構わず大笑いをしていました。ストリートパフォーマンスにも大いに反応していました。最初は唖然としていましたが、同じように自由に楽しく見ることができました。このように自分の気持ちを抑えずに、自由に表現できる場がたくさんであることが日本とはやはり違うように感じました。そして、今回の旅で自分の考えや気持ちを自由に、素直に表現して良いのだと思い、意見を口にする時も抵抗する必要はないのだと感じました。皆、理解し、

受け止めてくれました。文化も言語も違う国でコミュニケーションを取ることは本当に大変でした。しかし、黙っているだけでは何も始まらず、自分の思っていることを口にし、自分を知って貰おうとすることが大事だと学びました。出会った人々は皆、人と人との関わりをととても大切にしている温かい方ばかりで感動しました。ぜひ私も見習おうと思います。今年の夏にサンマテオ少年野球団と一緒に、コーチとしてサンマテオ姉妹都市協会の会長が豊中を訪れるので再会したいと思います。

今回の派遣で、個人旅行では味わうことのできない経験を多くしました。この経験で学んだことをこれからに活かしていきたいと思います。そしてこのような素晴らしい機会を与えてくださった両市協会の方々、本当に感謝しています。ありがとうございました。



第39回 高校生英語弁論大会

The Annual English Speech Contest

Congratulations



2011年1月30日、豊中・サンマテオ姉妹都市協会主催の第39回高校生英語弁論大会が、とよなか国際交流センターで開催され、10校23人の高校生の皆さんが参加しました。

賞	受賞者	高校名	演題
豊中市長賞	柿本 早紀さん	豊島高等学校	親愛なるおじいちゃん
サンマテオ市長賞	内藤 美月さん	豊中高等学校	あなたにだって生命を救える可能性があるでしょう
国際ソロプチミスト特別賞	林 梨沙さん	梅花高等学校	私と英語
優 秀 賞	山本 稜治さん	工業高等専門学校	小さな一歩を踏み出す
優 秀 賞	江崎 果林さん	豊島高等学校	私がバレエをやめなかったわけ
審査員特別賞	藤田 栞さん	梅花高等学校	言葉という架け橋

豊中市長賞の柿本さんは、一緒に暮らしていた祖父はいつも優しく見守り、陰で応援してくれていた、と祖父との思い出や感謝の気持ちを感性豊かに語りました。

サンマテオ市長賞の内藤さんは、脳死患者からの臓器提供に対する理解と認識を深め、提供する側になった時は自分や家族にとって最善の選択をすることが必要であると語りました。

国際ソロプチミスト特別賞の林さんは、中学時代、英語暗唱大会に参加した経験から「決してあきらめない」など大切な教訓を学んだと語りました。

山本さんは、ヨーロッパへの一人旅は最初、小さな一歩であったが、将来の夢に大きく役立つものであり、今後も小さな一歩をたくさん踏み出したい、と語りました。

江崎さんは、バレエのレッスンを続けたことで自分自身を見つめ直すことができ、やがては学んできたことを次世代に伝えることが使命だと感じていると語りました。

藤田さんは、ホストファミリーになった経験、ホームステイをした経験の両方から、言葉を壁と考えるのではなく、違う言葉と文化の架け橋にしましょうと語りました。



審査員は昨年に引き続き、千里金蘭大学教授のジュディ・ガーナントさん、大阪女学院大学教授のブライアン・ティーマンさん、大阪女学院大学准教授のウィリアム・クラインさん、当協会監事の川合隆子さんの4人をお願いしました。大会終了後、審査員からは「突然、オーバージェスチャーになったり声のトーンが大きくなったりしていると感じることがあったので、それが残念でした。今回は差がなく、内容も生活に根ざしたもの、世界観のあるものなど多岐にわたっており、審査が大変難しかったです」との講評をいただき、和やかな雰囲気の中で閉会しました。



学校名・学年 発表者	演 題
第十一中学校2年 木村 弥由さん	私の学校
第一中学校2年 土屋 優花さん	私の学校、クラスについて
第一中学校2年 足立 莉子さん	私の大好きなクラブ活動 について
第一中学校1年 三浦 梨々子さん	私のすてきな学校
第五中学校2年 三木 優佳さん	サンマテオ市について

また、今回は高校生の発表後、審査結果発表までの時間を利用して「中学生英語スピーチ発表会」を行いました。中学生によるスピーチは初めての試みで、若い世代に当協会のことを知ってもらうこと、英語に慣れ親しんでもらうことを目的として開催しました。

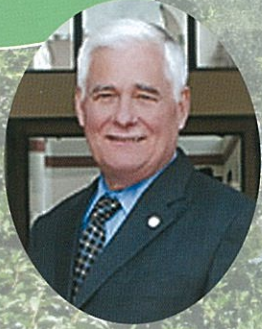
今回は豊中市立中学校18校へ募集し3校より13人の応募がありましたが、抽選により選ばれた5人の皆さんに英語スピーチを発表していただきました。英語に慣れ親しんでもらうことを目的としているため審査は行いませんでしたが、緊張しつつもこやかに、ときおり原稿を見ながら、一生懸命発表してくださいました。

発表後、豊中市教育委員会の山元教育長より表彰状を、当協会の國貞会長より記念品を贈呈していただきました。

※国際ソロプチミスト特別賞は、国際ソロプチミスト豊中・千里からの寄付により設けられています。

新市長はジャック・マシューズさん

2010年12月にサンマテオ市議会の改選があり、
新市長はジャック・マシューズさんに決定しました。
新しい人事は以下のとおりです。



■市 長：ジャック・マシューズ Jack Matthews

■副市長：ブランド・グロット Brandt Grotte

■議 員：ジョン・リー John Lee

■議 員：デイビッド・リム David Lim

■議 員：ロバート・ロス Robert Ross

■米国サンマテオ市姉妹都市協会会長：ダニエル・ハリス Daniel Harris

2011年度の予定

- 2011年 6月 豊中・サンマテオ姉妹都市協会総会
- 7月 高校生親善使節派遣
- 8月 サンマテオ市から少年野球チーム来豊
- 12月 親善使節OB・OG、高校生英語弁論大会関係者による交流会
- 2012年 1月 第40回 高校生英語弁論大会及び中学生スピーチ発表会



2007年 サンマテオ市遠征時の様子